

市民学芸員・博物館パートナー 育成にかかる講座事業

東近江市 歴史文化振興課

近江商人博物館

西堀榮三郎記念探検の殿堂

能登川博物館

事業の趣旨

東近江市博物館の使命

東近江市博物館は、鈴鹿山脈から琵琶湖まで広がる多様な自然の中でつちかわれ、語り継がれた先人たちの生き様と知恵を探究し、**普遍の価値を市民さらには世界へ広げます。**

そして、近江商人が到達した精神「売り手によし、買い手によし、世間によし」の「**三方よし**」に共感し、**実践する人々が輩出される社会をめざします。**



上記の**使命に共感し、自ら学んだことを生かし、地域に還元する「知産知承」による生涯学習**を推進するため、市民学芸員・博物館パートナー(サポーター・ボランティアガイド)育成にかかる講座事業を実施する。

※知＝地域の価値

ミュージアムガイド養成講座 ー基礎編



説明会



学芸員によるガイド講習



ガイド練習(聴衆は内部)

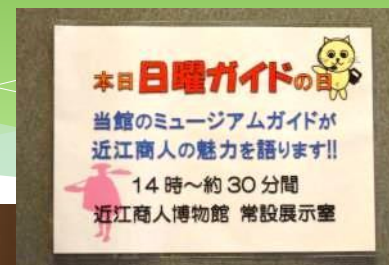
ミュージアムガイド養成講座 ー実践編



一般来館者に向けたガイド練習



予約ガイド(事前申込)*



日曜ガイド(当日来館者向け)

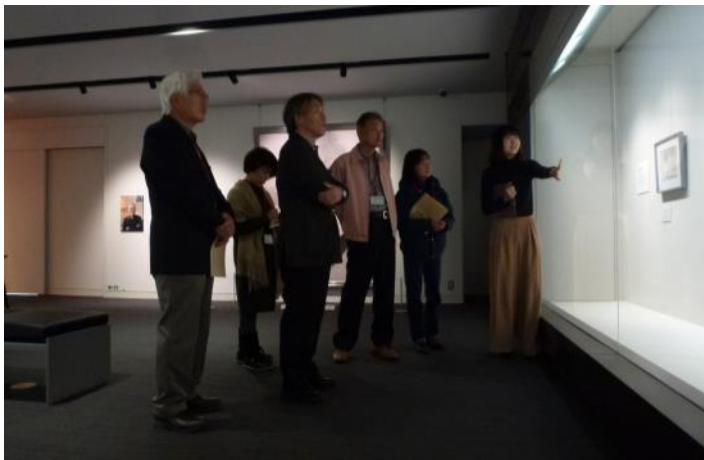
ミュージアムガイド養成講座 —スキル&チーム力UP



毎月一回の定例会で情報交換



家訓展ガイドに挑戦！



中路融人記念館のガイド講習



風呂敷活用講座

2019/1/25

ミュージアムガイドの今後の活動

* 定例会で自分たちの研修企画を検討中

- ・近江商人研究者の講義 & 茶話会
- ・他の近江商人の里、日野や近江八幡を見学研修、ガイド交流
- ・聚心庵(非公開の近江商人本宅) の見学研修

* 今年10月頃から、新受講生を募集予定

—先輩として一緒に受講生をサポート、アドバイス

いろいろな人と出会えて刺激がある。

お客さまによって、興味がちがうので、対応できるように学びを深めたい。

奥深さを知り、もっと学びたいと思った。

ここに来るのが楽しみ。



2019/1/25

ロボットプログラミング活動を通じた 指導者・サポーター育成

「科学探検隊ココロボ」

初級コース（博物館の予算化事業）

初めての子から最大6年間。ただし、40名の定員を超えた場合は抽選。



「ココロボ2」

中～上級コース（自主研究サークル）

ロボカップジュニアなどに挑戦する現役選手（中～高校生）15～20名



ココロボサポーター

「恩おくり」活動：次世代育成＝近い未来の指導者

現役（高校生）・OB（大学生・大学院生）・60代の市民 8名

ロボットプログラミング活動を通じた 指導者・サポーター育成

「ココロボ2」

中～上級コース（自主研究サークル）

ロボカップジュニアなどに挑戦する現役選手（中・高校生）



ココロボのイベント時の司会・試合の副審（記録係）・タイムキーパーなど、主体的に運営に携わる。
自らも現役選手であり、大会には選手として出場する。

2019/1/25

* 東近江市歴史文化振興課（近江商人博物館・西堀榮三郎記念探検の殿堂・能登川博物館）

ロボットプログラミング活動を通じた 指導者・サポーター育成

ココロボサポーター

「恩おくり」活動：次世代育成＝近い未来の指導者
現役（高校生）・OB（大学生・大学院生）＋60代の市民



- ▲ 何でも相談し、頼りにする
- ▼ だけでなく、時には甘える



現役選手として日本大会や世界大会に出場した経験を生かし、試合では審判をつとめ、上位大会へ行く際に必要になってくること等のアドバイスもする。

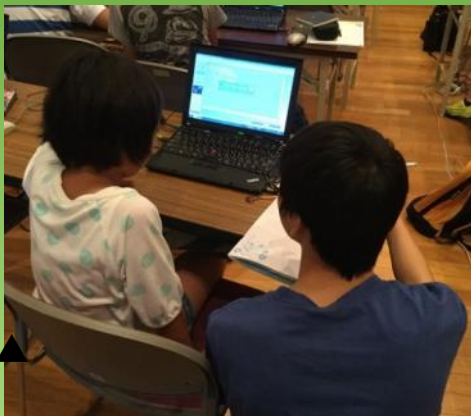


2019/1/25

ロボットプログラミング活動を通じた 指導者・サポーター育成

ココロボサポーター

「恩おくり」活動



南極をテーマにした夏休みのイベント
▲ 事業では、サポーターが運営の主体
▼ となる。また、子どもたちと一緒に聞く
越冬隊員の話は、テーマである南極
の知識を深める研修と位置付ける。

年間10回開催のココロボ教室（年間登録隊員を対象）のサポーターとして、活動を通して「サポートする技術」を身につける。

更に、一般の来館者への体験提供で、様々なレベルの子どもをサポートするスキルをみかく。

答えは教えない。ヒントは与えるとしても、考えさせて、子どもたち自身の力で課題を達成できるよう、励ましたり支援することに徹する。

「待つ」「子どものペースに合わせる」ことができるのは、自分たちがそれを重要とって育ってきた経験があるからこそできるサポートである。



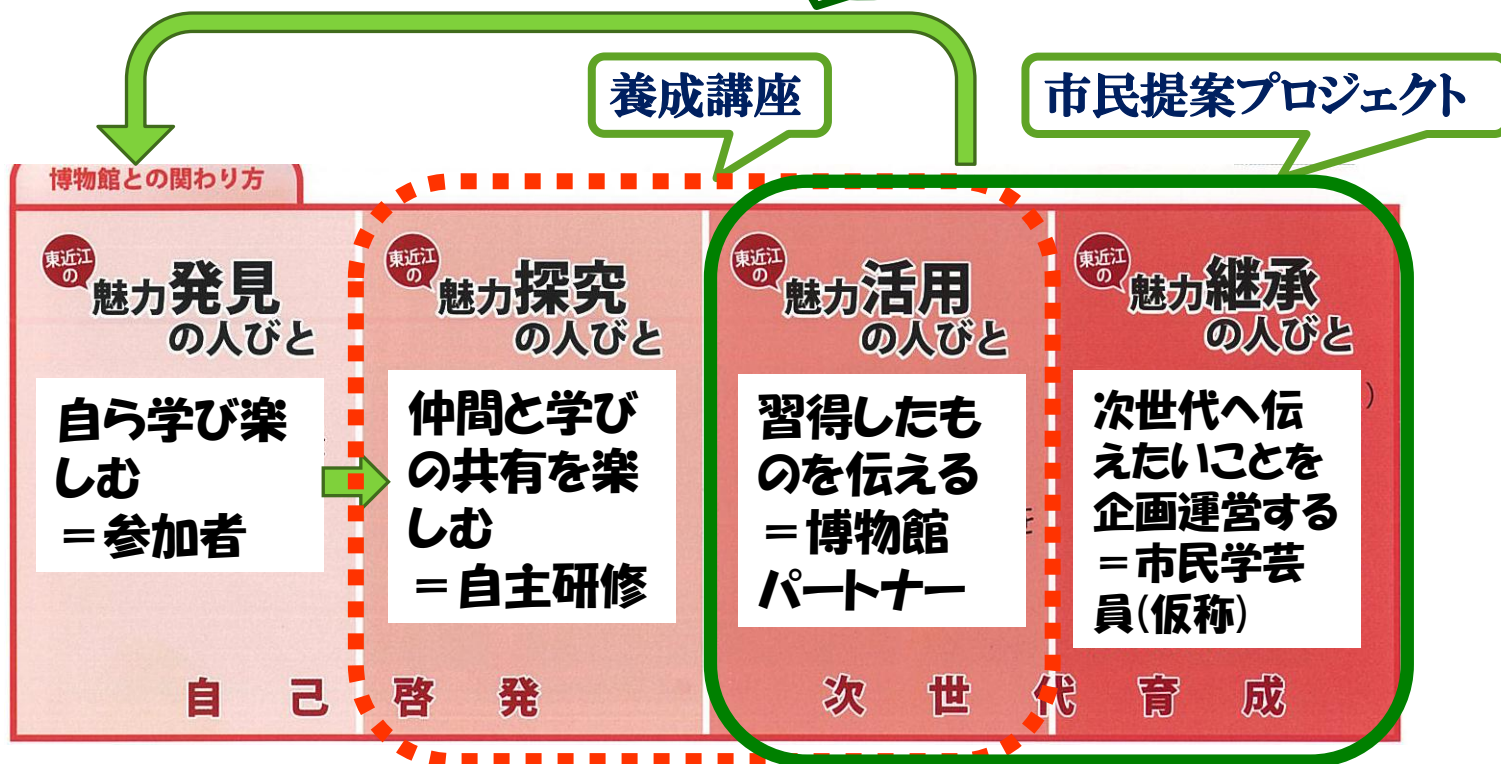
2019/1/25

チーム三方よし

= 知産知承循環型生涯学習事業

- ① 養成講座・・・博物館パートナーを増やす
- ② 市民提案型博物館活動プロジェクト推進事業
・・・市民学芸員(仮称)を発掘する

タネまき



チーム三方よし

= 知産知承循環型生涯学習事業

①養成講座を開催

現在の博物館活動にとって求められる人材を養成講座で養成する。(博物館パートナー)

②市民提案型博物館活動プロジェクト推進事業

自ら博物館事業を企画運営できる人(市民学芸員(仮称))

= 次世代に知を受け継ぐ人材を発掘する。

※市民提案プロジェクトを認定するシステムをつくる。

チーム三方よし ＝知産知承循環型生涯学習事業

市民学芸員(仮称)、博物館パートナー、利用者・参加者
ふくめてチーム三方よし

利用者・参加者

チーム三方よし

市民学芸員(仮称)
博物館パートナー

博物館